

②龍谷大学給付奨学金(家計奨学金)申請書

申込日 年 月 日

※必ず黒のボールペンで記入してください。鉛筆や消せるボールペンは使用不可。

学籍番号	学部	学年	フリガナ 氏名(自署)	連絡先(携帯電話)

○ 龍谷大学給付奨学金(家計奨学金)に申請します。本書記入に虚偽はありません。万が一記入内容に誤りがある場合は、大学の求めに応じて本人または保証人が加筆等による訂正を行います。また、場合により大学が訂正を行うことを承諾し、その対応を一任いたします。

学生署名:

保証人署名:
(大学へ届出の方)

※本奨学金に申請される方は以下に回答し、本申請書と共に必要書類をご提出ください。

2026年9月現在、貸与中・給付中の奨学金について記入してください。

日本学生支援機構 (受給中のものに○)	高等教育の修学支援新制度(給付奨学金) ・ 貸与奨学金
------------------------	-----------------------------

※高等教育の修学支援新制度(給付奨学金)を受給中の方は、原則として申請できません。

その他の貸与型奨学金 (正式名称を記入)	
-------------------------	--

※その他の奨学金制度を利用中の場合は、受給状況が分かるものを添付してください。(例:奨学生証、採用決定通知等)

※貸与名義が本人以外の奨学金や、貸付金(国の教育ローン等)は記入不要です。

1. 通学形態を選択してください。※どちらかに○	自宅通学(またはこれに準ずる) ・ 自宅外通学
--------------------------	-------------------------

上記で「自宅外通学」を選択した場合、該当するもの全てを選択してください。
いずれにも該当しない場合は、「自宅通学(またはこれに準ずる)」を選択してください。

- ☐ ①実家(家計支持者いずれもの住所)から本学までの通学距離が片道60キロメートル以上
- ☐ ②実家から本学までの通学時間が片道120分以上
- ☐ ③実家から本学までの通学費が月1万円以上
- ☐ ④実家から本学までの通学時間が片道90分以上であり、通学時間帯に利用できる交通機関の運行本数が1時間当たり1本以下
- ☐ ⑤その他やむを得ない特別な事情により、学業との関連で、実家からの通学が困難である場合

上記で⑤を選択した人は、事情を以下に記入してください。

(

)

2. 家計支持者(原則父母、父母がいない場合は代わって家計を支えている人)について記入してください。

※父母がいる場合は、収入の有無に関わらず必ず父母ともに家計支持者として申告が必要です(離婚等により完全に別生計の人を除く)。

(2)家計支持者①(父母のいずれか、父母がいない場合は代わって家計を支えている人)

(a)続柄	父 ・ 母 ・ その他(	(b)氏名	
-------	--------------	-------	--

(c)家計支持者①は2026年1月1日時点で生活保護を受けていましたか。	はい ・ いいえ
--------------------------------------	----------

(d)家計支持者①は2025年1月2日以降に転職しましたか。 ※転職している場合でも、減収していない場合には、「いいえ」を選択してください。	はい ・ いいえ
---	----------

上記で「はい」を選択した人は、以下のいずれかを選択してください。

- ☐ 転職後の収入(所得)での審査を希望し、直近の収入(所得)を証明する書類を提出します。
- ☐ 転職後の収入(所得)での審査を希望しません。

(3)家計支持者②(父母のうち①に記入した人ではない人)

(a)続柄	父 ・ 母 ・ その他(	(b)氏名	
-------	--------------	-------	--

(c)家計支持者②は2026年1月1日時点で生活保護を受けていましたか。	はい ・ いいえ
--------------------------------------	----------

(d)家計支持者②は2025年1月2日以降に転職しましたか。 ※転職している場合でも、減収していない場合には、「いいえ」を選択してください。	はい ・ いいえ
---	----------

上記で「はい」を選択した人は、以下のいずれかを選択してください。

- ☐ 転職後の収入(所得)での審査を希望し、直近の収入(所得)を証明する書類を提出します。
- ☐ 転職後の収入(所得)での審査を希望しません。

(裏面へ続く)

(4)2025年12月31日時点の家計支持者①と家計支持者②の扶養親族を全員記入してください。

※1 提出書類③の所得(課税)証明書に記載された扶養親族数と一致させてください。

※2 家計支持者の配偶者は、扶養されているとしても記入しないでください。(扶養親族にあたらないため)

※3 2025年12月31日より後に生まれた子どもは含みません。ただし、別途申告することにより子どもに含める場合があります。詳細は学生部 奨学金窓口でお尋ねください。

※4 税制上の特定親族特別控除の対象となる子等(特定親族)のうち、合計所得金額が 95 万円以下の者(18歳早生まれを含む)は、別途申告することにより子どもに含める場合があります。詳細は学生部 奨学金窓口でお尋ねください。

1人目の情報	家計支持者との関係	☐ 申込者本人	☐ 家計支持者の子ども	☐ その他
	扶養している家計支持者より年下か	☐ 年下(同じ生年月日を含む)		☐ 年上
2人目の情報	家計支持者との関係	☐ 申込者本人	☐ 家計支持者の子ども	☐ その他
	扶養している家計支持者より年下か	☐ 年下(同じ生年月日を含む)		☐ 年上
3人目の情報	家計支持者との関係	☐ 申込者本人	☐ 家計支持者の子ども	☐ その他
	扶養している家計支持者より年下か	☐ 年下(同じ生年月日を含む)		☐ 年上
4人目の情報	家計支持者との関係	☐ 申込者本人	☐ 家計支持者の子ども	☐ その他
	扶養している家計支持者より年下か	☐ 年下(同じ生年月日を含む)		☐ 年上
5人目の情報	家計支持者との関係	☐ 申込者本人	☐ 家計支持者の子ども	☐ その他
	扶養している家計支持者より年下か	☐ 年下(同じ生年月日を含む)		☐ 年上
6人目の情報	家計支持者との関係	☐ 申込者本人	☐ 家計支持者の子ども	☐ その他
	扶養している家計支持者より年下か	☐ 年下(同じ生年月日を含む)		☐ 年上
7人目の情報	家計支持者との関係	☐ 申込者本人	☐ 家計支持者の子ども	☐ その他
	扶養している家計支持者より年下か	☐ 年下(同じ生年月日を含む)		☐ 年上

3. 申請理由および特記事項

※奨学金を希望するに至った家庭事情や、特に説明を要することを学生本人の視点から3行以上記入してください。

[illegible]